

矢羽根型路面標示について紹介します！

やばねがた ろめんひょうじ 矢羽根型路面標示とは

矢羽根型路面標示とは、自転車の安全で快適な走行空間を創出するために車道上に設置する青色の矢印型の路面標示です。
矢羽根型路面標示には、大きな役割が2つあります。

自転車の走行位置の明示

- 自転車の**通行位置**と**方向**を明示して自転車の安全な通行を促します。

ドライバーへの注意喚起

- 自転車専用通行帯とは異なり、自動車も矢羽根を踏んで走行することができます。



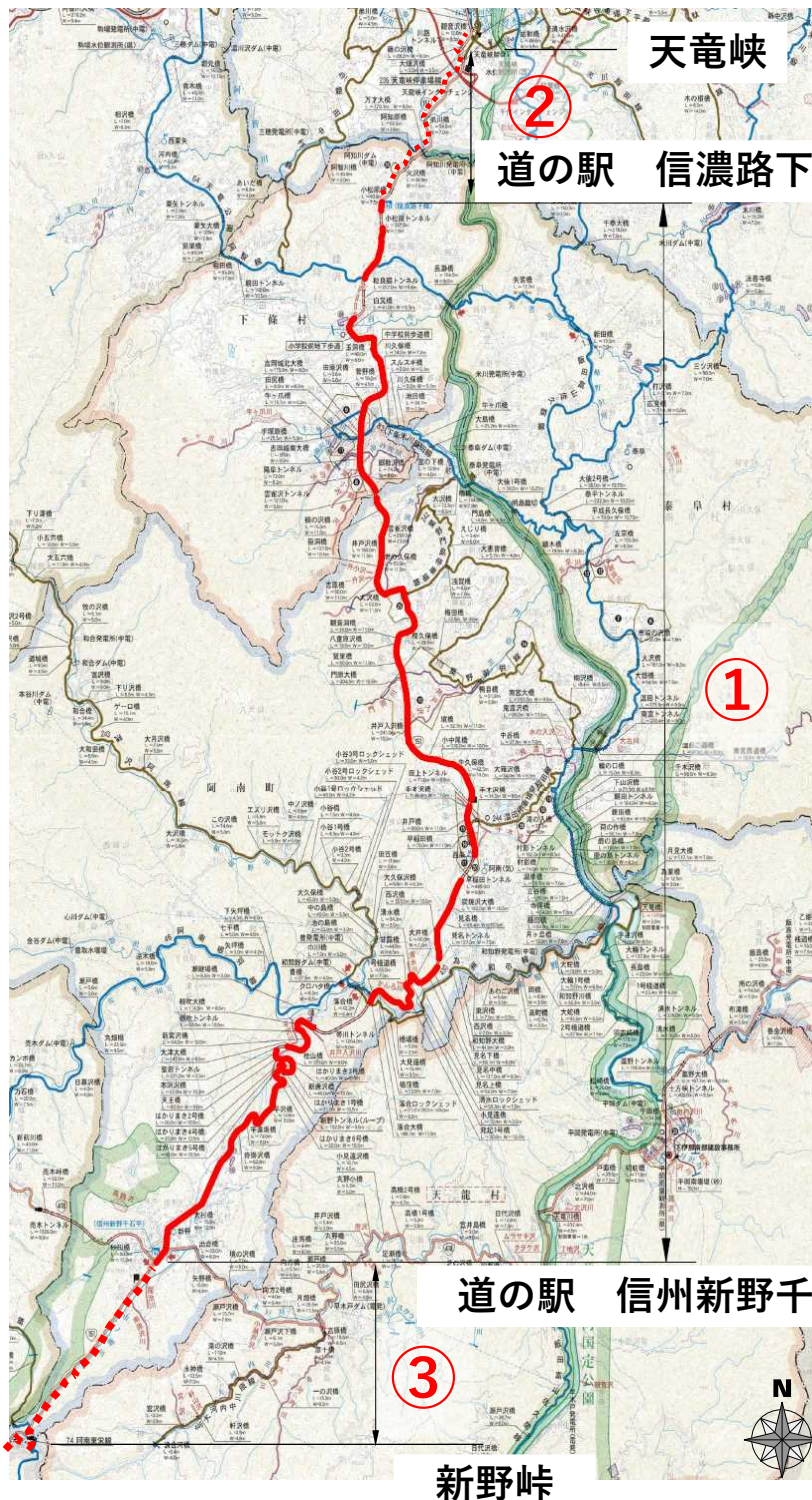
↑国道151号の矢羽根型路面標示
(写真左下の青い矢印マーク)

安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン (出典：国土交通省、警察庁)

	形状	配置	
		歩道あり	歩道なし
仕様(案)	<p><標準形></p> <p>幅=0.75m以上</p> <p>長さ=1.50m以上</p> <p>角度=1:1.6</p> <p>道路幅員が狭く、歩行者を優先させる道路(生活道路など)では、必要に応じて、以下を採用。</p> <p>幅=0.75m</p> <p>長さ=0.60m</p> <p>角度=1:0.8</p>	<p>設置間隔=10m</p> <p>1.0m以上</p>	<p>設置間隔=10m</p> <p>1.0m以上(0.75m以上)</p>

飯田建設事務所管内の設置区間

飯田建設事務所管内では現在、自転車利用の促進を図るため、国道151号に矢羽根型路面標示が設置されています。今後、飯田市の天竜峡から愛知県境まで設置される計画となっています。



①設置済箇所
道の駅 信濃路下條～
道の駅 信州新野千石平
延長 約27km

②R 5 予定箇所
天竜峡～道の駅 信濃路下條
延長 約3 km

③R 6～予定箇所
道の駅 信州新野千石平～
新野峠
延長 約5km

総延長は約35kmに及ぶ
予定です！



長野県PRキャラクター『アルクマ』
©長野県アルクマ

国道151号 自転車ビューポイント！



早稲田トンネル南側



かじかの湯（門原大橋）

- 自転車に乗りながら国道151号の景色を楽しめます！
- 春には桜、秋には紅葉が楽しめるルート！



- 樹木伐採整備により、橋上からの見通しが良いポイントが多いです
- 旧道を利用することで違う角度から景観を楽しめます（上写真）

自転車活用の推進に向けた取り組み



道の駅 信濃路下條



道の駅 信州新野千石平

- スタンドのない自転車を止められる【サイクルラック】の設置
- ポンプ・工具の貸し出しを実施中！



- 令和3年度にはサイクリングコース策定に向けた試走会を実施
- 関係する市町村長様にも試走していただきました！（左写真）

次回予告

あしぜ
“下伊那郡天龍村『足瀬』の災害”について特集します。
飯田建設事務所によるこれまでの取り組みと
今後の動向についてお伝えします。



飯田建設事務所
キャラクター
「ほるとんくん」